

平成20年 1月31日  
福島県自然保護グループ

### 狩猟者アンケート調査の結果について

福島県では、鳥獣保護管理の担い手として重要な役割を果たしている狩猟者が減少・高齢化の傾向にあることから、その確保・育成を図るため、具体的な事業検討の基礎資料とすることを目的として、(社)福島県猟友会と共同で狩猟者に対するアンケート調査を実施しました。その結果は次のとおりです。

#### <アンケート回答者>

アンケートの回答総数は1,561名で、平成18年度末の狩猟免許所持者4,255名(実数)の37%にあたる。

回答のあった狩猟者の構成は、福島県全体の人口構成と比較して、高齢者や農林水産業従事者の占める割合が高い。県全体は「福島県統計年鑑」平成17年のデータ。

狩猟者 60歳以上：57% (県全体 29%)

農林水産業従事者：32% (県全体 9%)

また、免許取得後の年数をみると、30年以上が半数以上(63%)、10年未満が約1割(8%)となっており、ベテランに偏り、初心者が少なくなっており、将来的に経験者不足になることが見込まれる。

#### <狩猟の実態>

狩猟を行った日数は、約7割(70%)が29日以下(狩猟期間3ヶ月のうち1/3以下)であるが、50日以上(狩猟期間3ヶ月の半分以上)も約1割(9%)いる。また、約9割(87%)が地元か近隣市町村で狩猟を行っている。

回答者のうち、半数以上(57%)がキジ、約1/3(38%、35%)はヤマドリ、カモ類を捕獲している。県で放鳥事業を実施しているキジ・ヤマドリを捕獲している人の割合が多く、狩猟資源としてニーズの高い種であることがうかがえる。

狩猟日数は、半数以上(58%)が昔と比べて少なくなったと回答しており、その主な理由は、獲物が減った(52%)、余暇時間が減った(15%)となっている。

しかし、約8割(80%)は今後も狩猟を継続したいと考えており、その理由は、趣味として楽しい(48%)、健康のためになる(19%)といった個人的なものが多いが、一方で鳥獣害軽減のため(15%)という社会・経済的な理由も一定割合を占めている。

#### <有害鳥獣捕獲の実態>

回答者のうち、約2/3(64%)に対して捕獲隊への参加要請があり、そのうち約9割(89%)が捕獲隊に参加している。要請があっても参加できなかったのは約1割(11%)で、その理由は、時間的な余裕がないとするものが大部分(70%)である。

回答者のうち、7割(72%)は捕獲隊への参加経験があり、経験年数は10年から29年が約半数(52%)、10年未満が約1/3(33%)となっている。捕獲隊従事者についても、ベテランに偏った傾向がうかがえる。

捕獲隊の従事日数は、半数以上（58%）が20日未満であるが、半数近く（49%）が昔に比べて従事日数が増えたと回答している。その主な理由は、被害が増えた（24%）、周囲の期待が増した（22%）、他の従事者が減った（18%）となっている。

今後の捕獲隊への参加意向については、半数以上（56%）が参加したいと回答しており、その理由は、「周囲の期待（27%）」が最も高く、「被害を受けている（24%）」がそれに続いている。

一方、参加したくないとの回答も約2割（18%）あり、その主な理由は、「仕事や時間的な問題」、「年齢や健康上の問題」が多い。

#### < 狩猟者確保対策に関する意見 >

狩猟免許の新規取得を促進するための具体的な方策としては、

- ・ マスコミ等を通じた広報、知人等を通じた勧誘などのPRの推進に加え、
- ・ 狩猟免許試験の実施方法（回数や場所など）の改善を求める意見が多かった。
- ・ また、手続きの簡素化や規制緩和等を必要とする意見も一定数あった。

狩猟に関する情報の提供方法としては、猟友会や銃砲店、知人・友人のネットワークなど、既存の枠組みを活用してはどうかという意見が多かった。

狩猟技術の向上、若手への狩猟技術継承の方策としては、

- ・ 射撃場の活用、現場での経験
- ・ 経験者に同行、経験者との交流

といった点を挙げる意見が多く、これらを総合すると、

狩猟技術の伝承・向上には、「経験者の下で、現地での実践的な研修」が必要になるものと考えられる。

- ・ また、猟友会の研修の活用や充実といった意見も一定数あり、狩猟者に対する指導や研修の実績がある猟友会への期待もうかがえる。

その他、狩猟税の使途や経済的な負担など、狩猟制度の経済的な面に関して見直しを求める意見も多かった。

また、農林水産業被害が増加しているという意見がある一方で、獲物が減少しているという意見もあった。このことは、被害を及ぼす鳥獣は増加し、狩猟対象となる鳥獣は減少しているといった野生鳥獣の種の構成の変化が生じていることもうかがわせる。

（社）福島県猟友会と福島県では、以上のようなアンケート調査の結果を踏まえ、これからの狩猟者確保・育成対策を具体的に検討していくこととしています。

[狩猟者アンケート調査の結果（データ）について](#)（PDFファイル形式22KB）

[狩猟者アンケート調査票](#)（PDFファイル形式23KB）